

第16回 日本社会福祉学会フォーラム 社会福祉と住まい ～人間らしい居住の実現に向けて～ 開催要領

1 趣旨

「人間にふさわしい居住の実現が福祉の基礎である」——昨年亡くなった早川和男先生が『居住福祉』（岩波新書、1997年）で提起してから20年余りが過ぎた。この間、日本社会は、数次にわたる大規模災害やホームレスの増加など、人間らしい居住を脅かす様々な事象を経験してきた。地域包括ケアシステムをめぐる議論では、「すまいとすまい方」が、医療・福祉・介護などの専門サービスを下支えする植木鉢に例えられる。賃貸住宅から忌避される高齢者や障害者、虐待や暴力から逃れる児童や母子など、社会福祉の対象者が住まいを失うリスクが高まるなか、改めて「社会福祉と住まい」のあり方が問われている。

政策面でも、2017年に改正住宅セーフティネット法が施行された。住宅確保要配慮者の住居を確保するため、住宅部局と福祉部局の連携が図られ、居住支援協議会が各地で発足するなど、新たな取り組みが動き始めている。また、生活困窮者の領域では、貧困ビジネス対策と単独居住が困難な人の居住支援を図る社会福祉法・生活保護法の改正が2020年に施行されようとしている。

今回のフォーラムでは、「社会福祉と住まい」をめぐる実践や政策の動向を踏まえ、誰もがその人らしい住まいやすまい方を実現できるようにするための課題を模索したい。

2 主催

一般社団法人日本社会福祉学会、中部地域ブロック

3 後援

日本学術会議、日本福祉大学、愛知県社会福祉協議会、愛知県社会福祉士会、日本居住福祉学会、愛知県住宅確保要配慮者居住支援協議会、愛知県精神保健福祉士協会、名古屋市住宅確保要配慮者居住支援協議会（順不同）

4 日時

2019年11月30日（土） 13:00～17:00(受付12:00～)

5 会場

日本福祉大学東海キャンパス 3階 S302 教室
愛知県東海市大田町川南新田 229 番地
名古屋鉄道「太田川」駅より徒歩5分

6 対象

一般社団法人日本社会福祉学会会員及び、会員以外の方でテーマに関心のある方

7 参加費

1,000円(webによる事前受付を行った方は、指定口座へ事前支払いができます。
なお、当日、受付にてのお支払いも可能です。)

*但し、学生(大学生・大学院生)の方は、会員・非会員を問わず、参加費を免除しますので、受付で学生証をご提示ください。

8 プログラム

*敬称略

- 13:00～13:10 開会挨拶 金子光一 (学会会長・東洋大学教授)
- 13:10～14:10 基調講演
「すべての人の暮らしを支える“社会福祉と住まい”をめぐる問題状況」
児玉善郎 (日本福祉大学学長)
- 14:10～14:20 休憩
- 14:20～16:50 シンポジウム
「居住支援の取り組みと社会福祉」
シンポジスト
大西 連 (認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長)
住まいに困難を抱える人たちの現状と背景
牧嶋誠吾 (大牟田市立病院地域医療連携室次長・元大牟田市建築住宅課長)
福祉・住宅の連携における居住支援の取り組みと課題
杉本みさ紀 (公益社団法人愛知共同住宅協会・弁護士)
「見守り大家さん」による居住支援の取り組み
コメンテーター 石川久仁子 (大阪人間科学大学准教授)
コーディネーター 児玉善郎 (日本福祉大学学長)
- 16:50 開会挨拶 山縣文治 (学会担当理事・関西大学教授)
- 17:00 終了

*プログラムの進行上、時間が多少ずれる場合もあります。

9 申し込み方法

webにて事前参加申込を受け付けます。

2019年11月12日(火)までにお申し込みください。

詳細は、学会HPをご確認ください。

- *参加証等はお送りいたしません。
- *領収証は、当日、受付にてお渡しいたします。
- *要約筆記はあります。
- *手話通訳が必要な方は、10月25日(金)までにご連絡ください。
- *当日参加も可能です。

10 参加申し込み・問い合わせ先

一般社団法人日本社会福祉学会大会ヘルプデスク(フォーラム)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター((株)国際文献社内)

TEL 03-6824-9385 FAX 03-5227-8632

E-mail jssw-forum@bunken.co.jp